

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	放課後等デイサービス事業所 夕風	公表日	令和 7 年 3 月 1 日
		利用児童数	32
		アンケート配布数	30
		回収数	26
		回答率	約67%

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2	0	1	各スペースに分けてあり、活動しやすいと思う。	基準を満たし、法令を遵守したスペースの確保ができています。個々に応じた環境調整をしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	3	0	6		職員の配置数は基準を満たし、子どもや職員共に負担のない人員配置を心掛けています。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1	0	3	生活空間をそれぞれに分けてあり、分かりやすいと思う。	施設内はバリアフリーで活動ごとにエリア分けし、視覚的にどこで何をしたらいいのかわかるようにしています。個々に合った情報伝達を心掛けています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	2	0	1	それぞれの場所に分けてあり、部屋の構図も活動に合わせた空間にしてある。	常時換気と毎日、清掃や消毒を行い気持ちよく過ごせるようにしています。活動に合わせた空間作りをしています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1	0	0	本人の興味のあるものや、子どもの特性を理解し、支援してもらっている。	個々の得意なこと苦手なことを把握し、芽生えや得意なことを伸ばしてあげられるような支援を心掛けています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	0	0	0		ご家族へ支援プログラムの公表と支援内容についてお知らせしていきます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0	個別に支援計画が作成されていると思う。	定期的なモニタリングや各機関と連携を行い、計画の作成にあたっています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	2	0	0		ガイドラインを遵守し、普段の支援の中でのアセスメントや、ケア会議でのご本人やご家族のお話などから、ニーズや課題について分析し、各項目ごとに具体的に目標や支援内容を設定しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1	0	0		計画に沿った支援ができるよう、日誌に支援計画の目標や支援内容を記し、毎回、記録するようにしています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	3	0	1		ご家族に相談したり、職員間で協議しながら様々な活動が提供できるようにしています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	2	3	17		地域行事に参加したり、公園や図書館に行き他の子どもたちと交流する機会がもてるようにしています。
保護者 への 説	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	1	0	0		契約時に各事項について説明させていただいています。わかりやすい説明を心掛けるようにしています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	3	1	0		説明が十分にできていなかったようで申し訳なく思います。LINEなども活用しながら十分な説明ができるようにします。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	3	2	9	定期的な勉強会が開催されるようになって、同じ境遇の方と会い、お話を聞くことができるともありがたい。	昨年より保護者向けの勉強会と茶話会を定期的に開催しています。こういった機会を今後も計画していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていますか。	26	0	0	0	LINEができるようになってから子どもの様子を前もって伝えやすくなった。LINEを通して子どもの状態を共有できるようになったり、助言をもらうことができ良かった。通所した日には本人から報告がある。	送りの時に状況を共有させていただいたり、連絡カードやLINEなども活用して情報共有ができるようにしています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2	0	4		申し送りのときなど日々のやり取りから悩み等を伺い、助言、支援や他機関に繋ぐなど必要な支援を行っています。
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	25	1	0	0	いつも子どもに寄り添ってもらえている。	ご本人の思いを大切にして、ご家族に相談しながら支援の方向性を考えるようにしています。	

明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	5	4	8	保護者の交流の機会が設けられたことで、同じ悩みに対する支援などをきくことができ、不安の軽減に繋がっている。今度、兄弟同士での交流があれば参加したい。	これからも保護者の交流の場を作っていきます。幅広い方が参加できるようにしていきます。きょうだい同士の交流の機会も計画していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	3	0	4	学校との対話が難しい中、話を聞いて貰えて安心した。迅速に対応してもらっている。	ご家族から相談があったときは、迅速に対応できるよう努めています。相談窓口先を担当職員の顔写真付きで分かりやすく表示し掲示しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	3	0	2		視覚的なものを中心に、その方に合った意思の疎通や伝達をさせていただいています。保護者とは対面やLINEなどで情報伝達をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	3	0	1		広報誌や通信を定期的に発行しています。毎月のダイアリーで活動の様子も発信するようにしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	3	0	0		個人情報の守秘義務について、定期的に職員へ伝え徹底を図っています。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	4	0	2		職員間では共有し周知を図っていますが、保護者への説明は十分ではないため、お伝えできるようにしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	3	0	8		定期的に火災と水害の避難訓練や、災害時事業継続計画（自然災害BCP）の研修や訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	3	0	2		安全確保に関する取組みについての年間スケジュール（安全計画）を策定し、計画に沿って取り組んでいます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	3	0	3	ちょっとした怪我等でも連絡してもらっている。	怪我等が発生したときは、速やかにご家族へ電話かLINEで、状態と経緯をお伝えすることを心掛けています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	4	0	0	「行きたくない」と言うことはない。	安心して楽しく、自分らしく伸び伸びと過ごしていただけるよう、個々に合った環境や伝達をしていくようにします。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	3	0	0	いつも「ゆうなぎ？」と両親に聞いてくる。夕風の日はとても嬉しそうにしている。夕風の日には朝から楽しみにしている。	楽しみな事の一つに夕風への通所があることは、職員自体の喜びにもつながります。「楽しい」「居心地が良い」と思っていたけりようしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	4	0	0	子どもにあった支援をしてもらっている。いつも感謝しています。	ご本人やご家族の声を聞きながら、最善の支援ができるよう努めて行きます。